

竹原管内景況調査

9月の景況DIは、製造業は悪化、非製造業は好転

当所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、令和元年9月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

調査概要

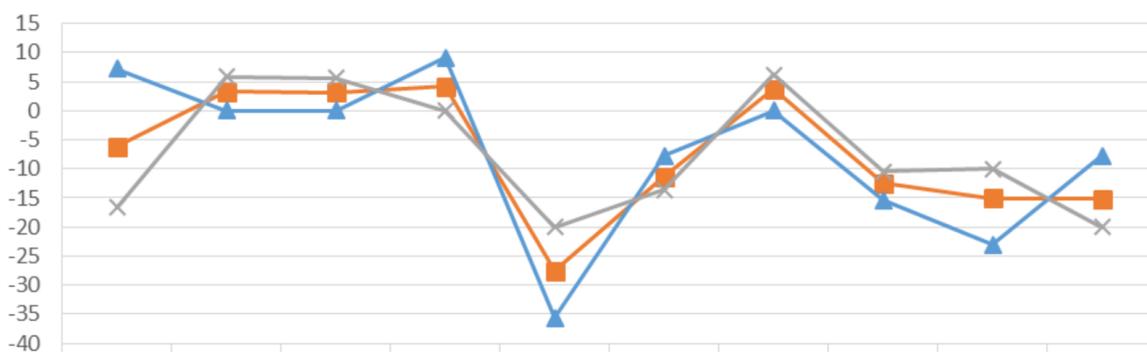
【調査時期】
四半期毎に調査(年4回実施)
【調査期間】
令和元年9月
【調査対象】
当所会員

回答状況

| 産業 | 対象事業所 | 回答数 |
|------|-------|-----|
| 製造 | 17 | 13 |
| 建設 | 6 | 4 |
| 小売 | 13 | 7 |
| サービス | 17 | 9 |
| 合計 | 53 | 33 |

●全産業におけるDI値

景況DIの推移



| | H29.9 | H29.12 | H30. 3 | H30. 6 | H30. 9 | H30.12 | H31.3 | R1.6 | R1.9 | R1.10~12 |
|-----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|----------|
| 全体 | -6.2 | 3.3 | 3.2 | 4.2 | -27.6 | -11.4 | 3.7 | -12.5 | -15.1 | -15.2 |
| 製造 | 7.2 | 0 | 0 | 9.1 | -35.7 | -7.7 | 0 | -15.4 | -23.1 | -7.7 |
| 非製造 | -16.6 | 5.9 | 5.6 | 0 | -20 | -13.6 | 6.2 | -10.5 | -10 | -20 |

9月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は7.7ポイント悪化し、非製造業は0.5ポイント好転しています。9月と比べて10月～12月までの見通しは、全体では、0.1ポイント悪化しています。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

●景況が好転(悪化)した理由について

《サービス業》

- ・子供の数が減ってきているので、新規事業を立ち上げて現状を維持している。
- ・豪雨災害で自治体委託業務の減少で売上が減少した。

《建設業》

- ・災害工事の発注で好転が続いている。

●2019年度の業界動向の見通しについて

《小売業》

- ・10月からの消費税の引き上げで、今のところ見通しはわからない。
- ・増税の影響がわからない。

《サービス業》

- ・予約が入ってきているので、昨年並みの売上は確保できる。

《建設業》

- ・上半期で出来るだけ住注しているため、下半期は少なめ。
- ・今後も災害工事の受注が見込まれ、業況としては好況と思われる。

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)